

## 日本古生物学会年会開催報告

2002年6月21日(金)から23日(日)の3日間にわたり、福井県立恐竜博物館において、日本古生物学会2002年年会・総会が開催された。21日に国際シンポジウムおよび総会が、22日に日本古生物学会学術賞受賞記念の特別講演と個人講演が、23日に個人講演と普及講演が行われた。この他、学会開催にあわせ、23日に恐竜化石発掘現場見学ツアーを実施した。

### シンポジウム

21日に、国際シンポジウム「Fauna and Flora of the Tetori Group and correlation with the Cretaceous sequences in Far-East Asia (環日本海地域における白亜系層序と国際対比—手取層群を中心として—)」が、IGCP-434「白亜紀の炭素循環と生物多様性の変動」との共催で開催された。早稲田大学の平野弘道氏、金沢大学の長谷川卓氏、当館の東洋一と佐野晋一が世話人となり、「Cretaceous Stratigraphy of Far-East Asia, comparison with the Tetori Group (環日本海地域の白亜系層序)」および「Fauna and Flora of the Tetori Group and their correlation in East Asia (手取層群の生物相と年代)」の二つのセッションと総合討論が行われた。韓国、中国およびロシアからの5名の研究者をはじめ、堆積学やテクトニクス、古地磁気学などを専門とする学会会員以外の招待講演者を迎えて、手取層群とそれに関連する韓国やロシアの層序やテクトニクス、ジュラ紀および白亜紀の極東アジア地域における生物相とそれらの対比などについて、14の講演およびコメントがなされた。

### 個人講演

個人講演は22日および23日に行われ、97の口頭発表と19のポスターセッション(22日のみ)が実施された。口頭発表会場(講堂、ガイダンスルーム、研修室)には、スクリー

ン2面、スライドプロジェクター、オーバーヘッドプロジェクター、ビデオプロジェクターを用意した。ポスターセッションは特別展示室を会場とし、ポスターの掲示には、移動壁を利用した。また、特別展示室の一面に試写コーナーを設け、スライドプロジェクターを用意した。

### 普及講演

古生物学会年会開催にあわせて、23日午後に、講堂において中国科学院古脊椎動物古人類研究所の董枝明(Dong Zhiming)教授に「中国の恐竜化石研究百年」と題した普及講演を開催し、150名を超える参加者があった(主催:福井県立恐竜博物館、共催:日本古生物学会、後援:NP法人福井恐竜博物館後援会)。

### 恐竜化石発掘現場見学

23日には、勝山市北谷の恐竜化石発掘現場への見学ツアーを実施した。貸切のマイクロバスを利用し、4回の現場見学を行い、のべ37名の参加があった。

### 送迎バス

恐竜博物館は、交通アクセスがよくないため、JR福井駅から恐竜博物館の間(21日午前中および23日午後、1時間おき)、京福勝山駅から恐竜博物館の間(21日の午後、22日、23日、30分おき)、勝山市内の宿泊施設から恐竜博物館の間(会期中毎朝3便)に、無料の送迎バスを用意した。

### ホームページの活用

今回、恐竜博物館のインターネットサーバを利用して、古生物学会年会開催についてのホームページを立ち上げ、京福電車の代替バス時刻表や博物館までの送迎バスの運行情報、最新版の会場マップなどの情報を提供した。特に、各種の問い合わせに対して、即座に対応することを心がけた。

学会への参加者は329名(うち会員235名)で、当初200名程度の参加者と見込んでいた開催館としては実に喜ばしい結果であった。

学会開催にあたり、NPO法人「福井恐竜博物館後援会」から、海外の研究者の招待や送迎バスの経費負担など、多大な御支援をいただいた。財団法人福井コンベンションビューローには、開催経費への助成、ならびにポスターの作成をしていただいた。勝山市旅館組合事務局には、宿泊施設の手配について便宜を図っていただいた。以上の方々に深く感謝する。

日本古生物学会2002年年会・総会を福井県立恐竜博物館において開催でき、盛況のうちに無事終了したことにつき、日本古生物学会の平野弘道会長をはじめ、学会関係者各位に深く感謝の意を表する。

野田芳和・佐野晋一(福井県立恐竜博物館)

